

今月の予定

3日(木)	文化の日	13日(日)	鑄銭司ふるさと祭り
5日(土)	インフルエンザ予防接種	23日(水)	勤労感謝の日
9日(水)	お誕生祝膳		
9日(水)	仏教婦人会清掃奉仕		

山口市立二島中学校において
福祉体験授業を実施しました

9月26日(月)13時より、二島中学校1年生から3年生まで31人を対象として「福祉体験授業」を行いました。この授業は、山口市社会福祉協議会から依頼を受けたもので、高齢者との関わり方や介助の仕方について、体験を通して理解を深めることを目的として実施しました。

当日は、山口市社会福祉協議会から職員等4名、梅光苑から2名、山口市介護保険課から1名が参加しました。まず、校長先生の挨拶の後、梅光苑の梅本次長より、介護の仕事についての講義、続いて、介護体験として「高齢者疑似体験」、「車椅子体験」を行いました。

体験後の感想では「ゴーグルを付けたり、おもりを体に装着することで、体が思うように動かなくなった。お年寄りの大変さが分かった」「車椅子は声をかけながら動かすのが大切」など、高齢者の気持ちや車椅子の使用の難しさが実感できた様子でした。

今後も、私たち福祉職の、日々の仕事の「やりがい」や「魅力」を「職業の価値」として「生の言葉」で伝えていきたいと考えています。



「梅光苑秋祭り」をみんなで楽しみました

秋もすっかり深まり、まさに秋まっさかりの季節となりました。そんな中、ご利用者に少しでも秋を感じてもらおうと、「梅光苑秋祭り」を開催しました。皆さん、音楽に合わせて「神輿」を担いだり、「太鼓」を叩いたり、「お菓子釣り」と「思い思いの秋」を楽しんでいました。



旅するチョウとして知られるアサギマダラ
今年もやって来ました!!

10月中旬の天気の良い日、鑄銭司の長沢池湖畔にご利用者とともにアサギマダラを観に行ってきました。訪れた時には、地元の住民が植えたフジバカマの花に10匹ほどアサギマダラが舞っていました。



かわばた邸 11月のイベント情報

毎週 水曜日 10:00~12:00 百歳体操 (元気いきいきひろば)
金曜日 13:30~15:30 百歳体操 (元気いきいきひろば)

12日(土) 13:30~15:30 カフェかわばた 参加費100円

銭太鼓を楽しもう みんなでチャレンジ

鑄銭司自治会の手作り銭太鼓でシャンシャンと楽しみましょうね~

14日(月) 13:30~15:30 カフェかわばた 参加費100円

おしゃべり会 楽しくおしゃべりしましょう

※新型コロナウイルス感染症の拡大状況によっては変更の可能性があります。ご確認ください。

『 深まる秋 懐かしく浮かぶ故郷の風景』

特別養護老人ホーム梅光苑

「昔は「わら屋」が多く、秋のこの時期には、どの家の軒先にも干柿が吊るしあった」と話すのは、阿武郡の山あいの町で生まれ育ったAさん(76)。今でも軒先にずらりと並んだ干柿が映し出されると「深まる秋」と共に、暗くなるまで野山を遊んだ幼い頃を思い出すという。

「私の子どもの頃は、食べるものが少なくて……。その中で、比較的たくさんの実を付ける柿は、みんなの大好物でした」と話すAさん。中でも、渋柿が熟した「ずくし」は、甘くてジュークジュークして最高のおやつでした。「そんな「ずくし」目当てに、よその家の柿の木に登って叱られていた男の子もおった」と笑いながら当時を振り返る。

あれから数十年、息子に話を聞くと、私の町では、わら屋も少なくなり実も収穫されず、そのままになっている柿の木もたくさんあるそうです。ふるさとの風景もすっかり変わったねと話されていました。

梅の里 かわばた邸（地域連携室）

今年は阿東でもマツタケが豊富というニュース。この話題になったかわばた邸の皆さんの昔話。「昔はどこでもマツタケがあったいね。卵やバナナを買うよりマツタケが安かったんじゃから。」「子供でもみんなようけマツタケとりよったいね。」「松くい虫に松はみなやられたからね。いまはどこにもありゃあせん。」

昔は、たくさんマツタケがとれていた話題でひとしきり盛り上がりました。

そのあとは、料理法。焼きマツタケ、土瓶蒸し、澄まし汁、マツタケごはんとな様々な声があがり、「食べたいけど手がでんね～」と話はおさまりました。

みなさんのお話に、マツタケのいい香りが漂ってくるようなひと時でした。

思い出せる故郷の風景があることはとても幸せですね。回想法でしっかり脳活性にもなりました。さあ、みんなで深まる秋を楽しみましょう。

デイサービス

送迎時、「嫁に来た頃にはこの辺りは田んぼばかりで家は2、3軒しかなかった。」

「田植えや稲刈りの時期には子どもどころ手伝いに行かされたよったよ。」

「今は機械で全部やるからあっという間に終わるいね。」などなど昔懐かしい風景を思い出しながら、ご利用者さんとの話がはずみます。

知らないことをたくさん教えて頂き、「へーそうなんですね。」と楽しく話しながら送迎の時間を過ごしています。

あちこちに見る風景は時とともに変わっているようです。

訪問介護

秋の景色と言えば、コスモスの花が咲き誇り、大変きれいだっった風景や、稲穂が色づく田んぼの風景などを思い出されるそうです。

このような懐かしい風景を思い出すと心が明るくなると笑顔で話されていました。話しをする時の嬉しそうな笑顔から元気をいただけます。

これからもこのような時間を大切にしていきたいと思いました。

グループホーム 陶ヶ岳

秋の風景で、コスモスや彼岸花を思い浮かべたりしますが、稲刈りの季節でもあります。

子供の頃、近所の家から大きな機械を皆で運んできて、総出で稲刈り後の作業をしていました。子供の頃は何かをしているのかよくわからなかったのですが、皆が集まっているのと機械から米が出てきたり、外にもみ殻が飛んで行ったりするのが、ただただ楽しかったのを覚えています。

ご利用者様とお話すると、機械はなくすべて手作業で稲刈りから脱穀まで大変だったと言われます。時代とともに風景も変わっていくものなのですね。

グループホーム 希望の里

日本の秋と言えば、松茸や紅葉、赤とんぼなど色々と連想しますが「懐かしい故郷の風景は？」と言われて、私事で恐縮ですが生まれ故郷（阿東町生雲）を思いました。

山と川と畑しか無い田舎ですが、小さい頃は秋になると祖母に連れられて松茸取りをしていた思い出があります。

今では松くい虫にやられて殆ど取れませんがよく松茸ご飯や焼き松茸を食べさせて貰っていました。

来年で50歳を迎えますが田舎は殆ど風景も変わっていません。

ご利用者様が生きてこられた時代の変化、故郷の変化をお聞きすると、自分たちが想像する以上に大きいことがよくわかります。

生まれた故郷があまり変わらない事が幸せなことなのですね。



居宅介護支援事業所

懐かしい風景からは少し離れますが、食欲の秋にちなみ、先日訪問したお宅で秋ナスの話題になったときのことです。「秋ナスは嫁に食わすな」ということわざがあります。

皆様はどのように解釈されているのでしょうか？私は「おいしいものを嫁に食べさせるなんて」という意地悪な意味だと思っていました。

訪問先の方から教えていただいたのは、「体を冷やす作用のあるナスを食べて、妊娠・出産に支障が出てはいけない」と、体調を気遣う意味のあることわざであると教えていただきました。

由来には諸説あるようですが、教えていただいたことで、自分の持っていなかった考え方を得ることができました。一つの答えを持っているからそれが正解とは思わず、新しい考えを日々吸収していきたいと感じる秋の一日になりました。